

プロジェクト科目 議事録

2006年 12月 28日提出

プロジェクト科目 テーマ名	
小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 B	学生 ID -
日時	2006年 12月 22日 (金) 15:00 ~ 18:00
場所	寧静館501
議題 <ul style="list-style-type: none"> ・ WS当日の役割・準備物・タイムテーブル等について ・ 「開会式」・「閉会式」のプログラム内容について ・ 冬休み中のタスクについて 	
参加者 A、B、C(~16:30)、D(~16:45)、G(~17:00)、H、T(16:10~)	
記録 〔使用機材〕 記録用ビデオカメラ1台、三脚1台 【会議の内容】 (以下項目ごとにまとめる) 《WS当日の役割》 当日必要な役割として挙げられたのは以下の通りである。カッコ内は人数。 統括(1) タイムキーパー(2) 司会(1) 広報〔27日の連絡待ち→詳しくは別項にて〕(1) 受付兼進行補助(2) 進行補助(2) ※「進行補助」とは、児童の誘導や進行など、能楽師の補助をする役割のこと。最大4名必要である。(「座談会」の時に2名、「体験」・「報告会」の時に4名) このままでは、メンバー8人に対して9人のスタッフが必要になるため、「統括」が「進行補助」を兼任することにする。 ⇒今回のWSはアリーナ(体育館)のみで行われるため、専任の統括を置かずとも、メンバー全員が会場全体を見ることが出来ると判断した。	

☆ メンバーが揃っていない状況であったが、各々の役割を決定した。

統括兼進行補助…A

タイムキーパー…B、C

司会…D

広報…F

受付兼進行補助…E、H

進行補助…G

《WS当日の準備物》

- ・ 借りるもの…メディア工房から、デジカメ(5台)、ビデオカメラ・三脚(各6台)、ノートPC(1台)
- ・ 買うもの…ビデオテープ(数量未定)、スケッチブック(2冊)、バミリ用テープ
- ・ メンバーが持参するもの…デジカメ、メジャー、夏WSの写真のデータ(Aが担当)
- ・ 作成するもの…看板(2枚/小学校で印刷)、保護者アンケート・当日のプログラム・タイムテーブル(以上3点は大学で印刷)、司会原稿
- ・ 小学校に依頼するもの…給食(能楽師4名分)
- ・ 当日調達するもの…お茶(500mlペットボトル×4本、2Lペットボトル×数本)、紙コップ(数量未定)

☆ 当日の、機材運び込みのための手段について、レンタカーとタクシーが挙げられた。それぞれのメリット・デメリットの意見交換がされた後、C・Hが生協でバミリ用テープ、スケッチブック、ビデオテープを購入するとともに、レンタカーの代金を確認して来ることになった。その間にGが某タクシー会社に電話してタクシーの代金を確認した。

⇒ 結果、タクシーは10日の午前9時半頃出発の計算で、片道2000円ほどであることが分かり、タクシーを利用することになった。

☆ Tが会議のために遅れて到着し、メディア工房に電話をかけて上記「借りるもの」の予約を行った。

⇒ デジカメを5台、ビデオカメラ(大型)を2台、ビデオカメラ(ハンディ)を4台予約した。

《タイムテーブル》

当日の主な準備作業を挙げたところ、

- ・ 能楽師・撮影協力者との打ち合わせ
- ・ 準備(椅子並べ、受付設営、カメラの設置、看板設置、バミリ)
- ・ 昼休憩

などが挙げられた。

以下に会議中考えられたタイムテーブルをまとめる。

	能プロメンバー	能楽師	撮影協力者
9:15	大学集合(A・B・Gが機材の積み込み)		
10:00	小学校集合(機材積み込み担当以外のメンバー) アリーナ準備		
10:30 10:30			集合 打ち合わせ(B)
11:00		集合 打ち合わせ(A・F・D・H(挨拶し次第、D・Hはアリーナ準備に戻る))	
12:00	昼休憩		
13:00	アリーナ集合・事前準備		
13:25	WS開始		

☆ 詳しいタイムテーブルはBが作成し、e-classにアップすることになった。

《「開会式」・「閉会式」・「仕舞鑑賞」のプログラム内容》

当日の準備作業に関連して、詳しい内容を詰められていなかった「開会式」・「閉会式」及び「仕舞鑑賞」の演出方法について話し合った。

【演出案①】

「仕舞鑑賞」をスポットで照らして舞台部分だけを浮かび上がらせる。

〔問題点〕

- アリーナの照明が一部水銀灯であるため、一旦消すと、全体が完全に明るくなるまでに時間がかかる。⇒当日に照明設備を確認して判断することになった。
- 『殺生石』の激しい動きを追いきれぬのか。⇒大きく照らせば可能である。

【演出案②】

「閉会式」で7月のWSの映像を流す。

〔問題点〕

- 編集の手間がかかる
- 第1回WSの映像だけで、第2回がないのはバランスが悪い。

- 今回は第1回のWSのような「発表会」がなく、当日映像を編集する時間がない。
- 「閉会式」に映像を流す場合、一度全体を暗くしなければならず、照明が完全につくまで雰囲気盛り下げてしまう可能性がある。

⇒ 結果、「閉会式」に、第1回と第2回の編集済みの写真を、音楽にのせて流して終了という流れはどうか、という案にまとまった。写真の取り込みなら、「座談会」中に行うことが可能である。

☆ メディア工房でPCを1台確保した。

☆ 「閉会式」で流す音楽の案としては、小田和正やサラ・ブライトマンなどが挙げられた。

《冬休み中のタスク》

タイムテーブルの作成…B

保護者用アンケートの作成…C

保護者用プログラムの作成…G

看板の作成…D

司会原稿の作成…D

☆ 最終的なタスクの締め切りはすべて9日の印刷までであるが、年内に一度草案をe-classにアップし、メンバーが訂正・確認をすることになった。

☆ 保護者用プログラムの内容は、保護者が見やすいように工夫することが必要である。具体的には、簡単なプログラムの説明をつけたタイムテーブルと、参観の仕方についての注意事項の記載が挙げられた。

《その他》

○ 広報について（Gより）

- ・ 27日に取材申し込みを締め切り、その日中に広報課からGに連絡が来ることになる。
 - ・ 広報課の職員が当日のマスコミ対応の手伝いを申し出ている。
- ⇒但し、年始のため当日広報課の職員が忙しくて来られない可能性もあり、確実に広報課の協力を得られるかどうかは分からない。

○ 小学校への連絡・確認事項

- ・ 看板の印刷の依頼
- ・ 能楽師の分の給食の依頼
- ・ 児童の名簿（金剛流と観世流のグループ分け）を当日受け取ることが可能か確認
- ・ メンバーは当日、10時から準備に入る予定であること

○ 1月9日の最終打ち合わせ（4限～）の予定

- ・ 当日の配布物を印刷する
- ・ 当日の流れを確認する

※ 場所は寧静館。教室についてはTが手配し、決定次第MLで連絡する。